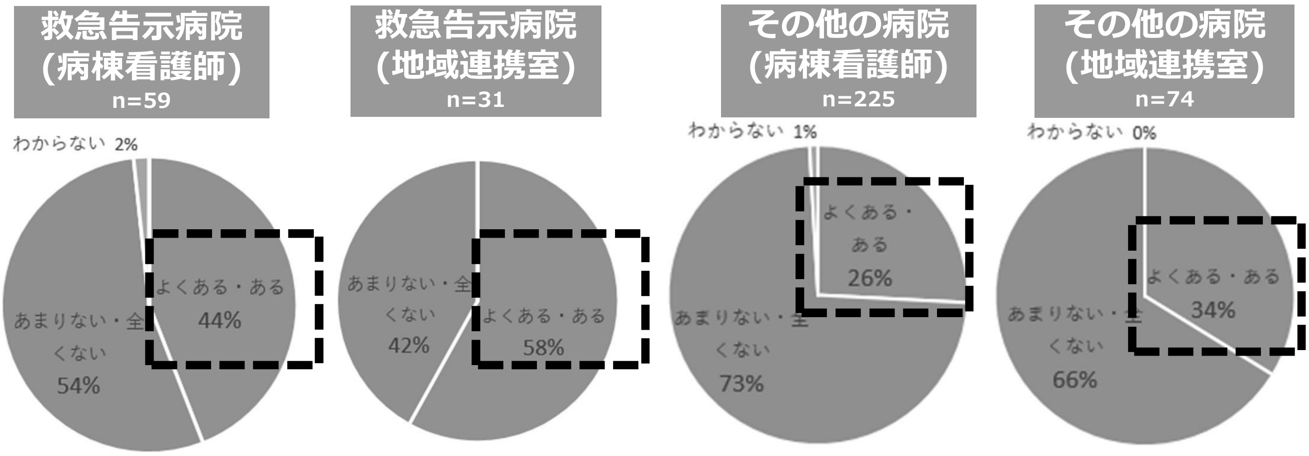
医療・介護連携についての実態

（現場は、基本的なことでも難しさを感じている）

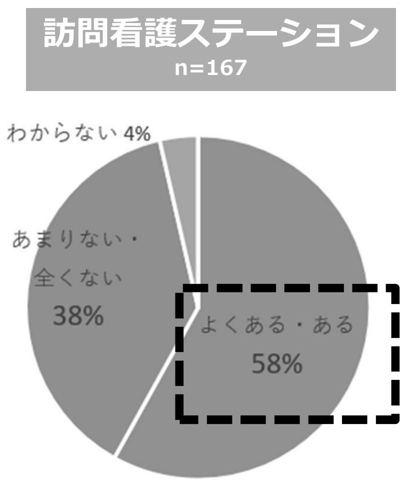
Q 新しく患者・利用者を引き受けるときに、今まで患者に関わっていた医療機関や事業所がわからない（情報がない）ことがある

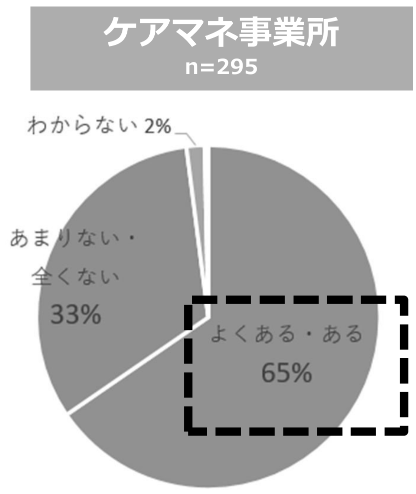


患者の情報の取得に（しかも基本的な情報すら）苦労している

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「医療・介護連携に関する調査」（平成30年10月）

Q　各医療機関や事業所の窓口がわからない、また医療機関や事業所でルールに差があり、それを把握したり合わせたりすることが大変だと感じる





各医療機関・事業所の窓口や取扱いのバラバラさに困っている

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「医療・介護連携に関する調査」（平成30年10月）

Q　患者が入院した際の第一報を行う患者像

【病院】　すべての患者　27.9%

⇕

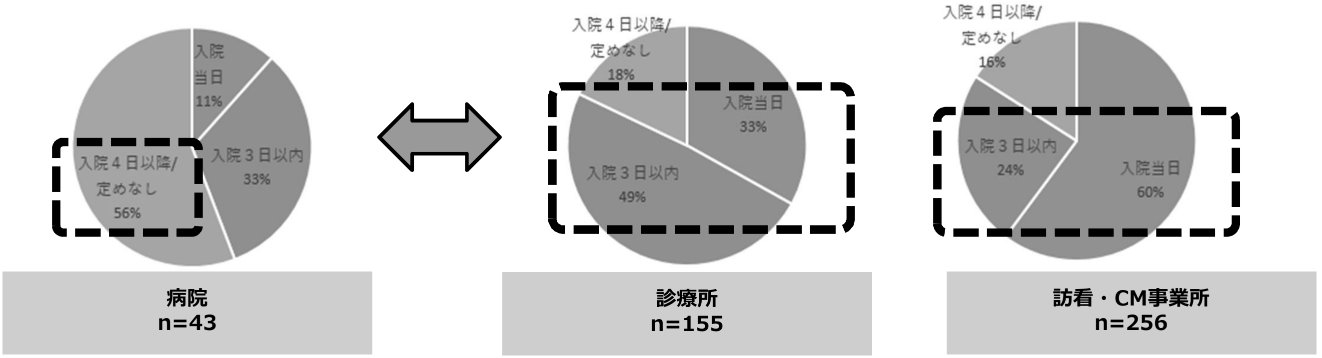
Q　患者・利用者が入院した際の第一報をもらいたい患者像

【診療所】　すべての患者　83.9%
【訪看・CM事業所】すべての患者　79.7%

【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「現状調査結果」（平成31年２月）

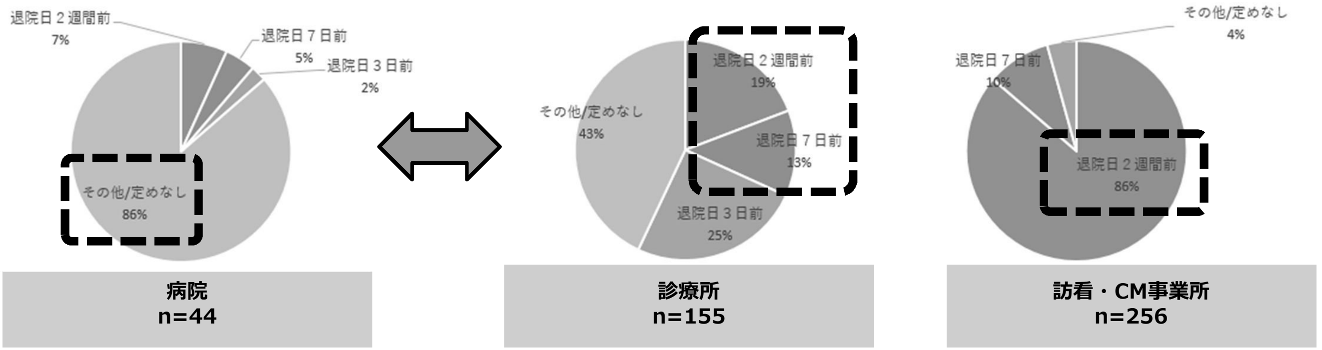
Q　患者が入院した際の第一報を行う時期
（「入院４日以降」または「定めなし」が６割）

Q　患者・利用者が入院した際の第一報を
もらいたい時期（「入院３日以内」が８割）



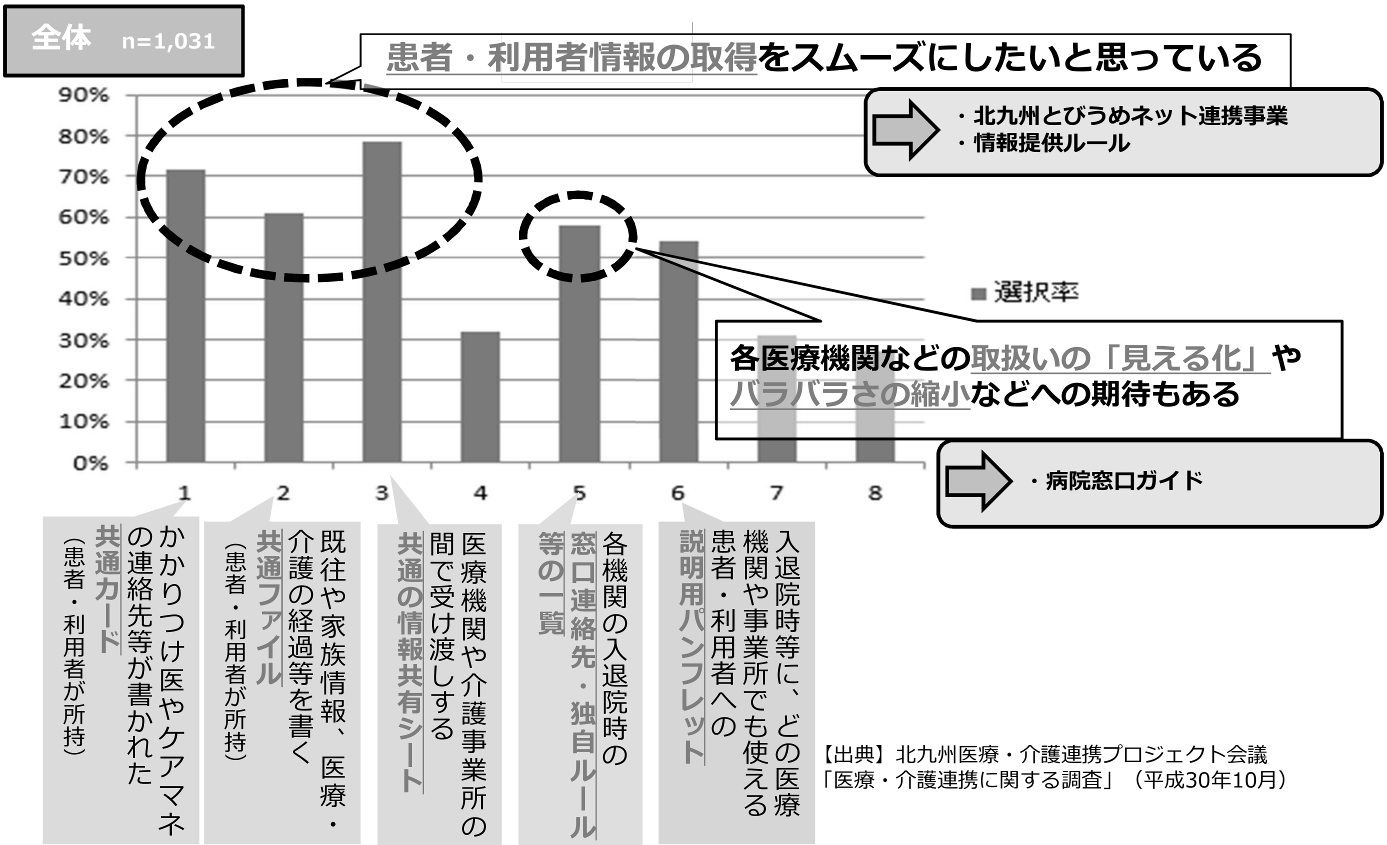
Q　患者の退院見込みの連絡を行う時期

Q　患者・利用者の退院見込みの連絡を
もらいたい時期



【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議　「現状調査結果」（平成31年２月）

Q　市内全体で効率よく患者・利用者情報が提供・共有される仕組みを作るためには、何が必要か？　　（５つまで選択）



【出典】北九州医療・介護連携プロジェクト会議
「医療・介護連携に関する調査」（平成30年10月）